

平成25年度 病院事業部 経営計画書



部署名	病院事業部		
役職・氏名	部長 上田 和政		
病院事業部 経営方針			
<p>● 部の使命</p> <p>私たち病院事業部は、「市民に信頼される病院を目指して」という基本理念を掲げ、それを達成すべく医療局・医療技術局・医療連携局・看護局・事務局・牛窓、裳掛、美和診療所間で連携を図りながら、健全な病院経営をすすめます。</p> <p>また、事業部内に新病院準備室を設置し、新病院を遅延なく建設します。建設に向けた業務と並行して、病院で働く職員の内部変革を求めて、病院組織の制度設計についても取り組みます。また、その準備機能づくりを行います。</p>			
<p>● 部の基本方針</p> <p>～部の使命を果たすために病院事業部は、病院の基本理念に沿って、次の基本方針を掲げます。～</p> <p>①医療の質の向上を目指します。 ②安全安心な医療に努めます。 ③やさしさのある医療を行います。</p>			
●平成25年度 部のスローガン		理念の実践を通じた健全な病院経営の実現 【新病院稼働に向けての確実な準備機能づくり】	
部署内経営資源			
構成人員	正職員	臨時職員等	計
	86人	53人	139人
		当初予算 (うち人件費)	事業会計 1,359,991 千円 特別会計 56,641 千円 (922,551)千円

病院事業部 重点事項					
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)
1	患者中心の医療の実現 患者(ご家族)に対し、明確に病状を説明します。(インフォームドコンセントの実践) 入院患者への回診時には、患者からの訴えに今まで以上に真摯に対応します。 各種検査プランを充実させます。	入院患者数1日平均77人 入院患者1人1日当たり収入 29,000円(急性期)、24,500円(亜急性期)	入院患者1日平均65.5人 入院患者1人1日当たり収入29,350円(急性期)26,118円(亜急性期)	入院患者1日平均65.6人 入院患者1人1日当たり収入29,900円(急性期)25,700円(亜急性期)	入院患者1日平均65.8人 入院患者1人1日当たり収入29,800円(急性期)25,800円(亜急性期)
2	職員接遇レベルの向上 各部門での職務分掌を確定させて、その業務に必要な要員数を出し、要員数を確保した上で患者及び患者の家族に満足していただける接遇についてマニュアル化していきます。	患者及び患者家族の満足度アップ	看護局の職務分掌(未定稿)を作成中であり、その職務分掌により必要要員数を導き出す予定。接遇については、今後研修会を行う予定。進捗度として、25%程度	職務分掌に合わせ、職位による責務についても、権限規定案を作成中。これにより、要員を導き出す職位の方を確定させ、要員数を導き出す。進捗度40%	新職務分掌及び権限規定について、現在のものと比較検討をしている。接遇レベルについては、マニュアル化が出来なかったものの、患者意見箱の中にもいい対応をしていたという内容のものも増加している。進捗度50%
3	地域医療機関との連携 入退院支援の仕組みを作ります。地域医療機関へ定期的に訪問し、当院でできることを具体的にお知らせしていきます。	患者紹介率 30%(前年度24%) 逆患者紹介率 35%(前年度 25%)	患者紹介率(9月末時点) 患者紹介率 19.5% 逆患者紹介率26.2% 入退院支援シートを活用するも、患者紹介率は、低迷中であり、今後、地域の開業医へ挨拶まわりをし、当院で行えること等を訴える予定。	患者紹介率(1月末時点) 患者紹介率 21.9% 逆紹介率 26.7% 地域開業医への挨拶まわりが捗っていない。今後、行う予定。	患者紹介率(3月末時点) 患者紹介率 22.7% 逆紹介率 26.4%。 地域開業医への挨拶まわりできなかった。新体制で行う。
4	健診部門の強化 健診メニューを増やし、だれもが安心して健診できるようにします。健診の流れを分かりやすく構築していきます。健診チラシを作成し、広く一般に広告します。	健診者数900人(前年度750人)	健診者数(9月末)現在683人で、目標数との差217人で実績率として75.9%である。	健診者(1月末)現在960人で目標数を大きくクリアしている。実績率として106%である。	健診者(3月末)現在 1,055人で目標数を大きくクリアしている。実績率として117%である。
5	病院経営を管理監督する部門の創設・稼働 新病院準備室内に事業企画部門を組織し、経営方針や事業への取り組みについて監査監督していきます。また、市民病院の中期計画を策定し、実践します。	中期計画の策定及び実践の監査監督	企画部門を新病院準備室内に置き、新病院開院後までを見通した中期計画の基礎資料を作成中である。その中で監査する数値を導きだしていく予定。	新病院での経営計画を策定する中、病床稼働率の変化でどう経営が変わるのかなどのシミュレーションを通じて持続可能な病院の将来像を浮かび上がらせている。今後、その将来像への施策を策定する予定。	新病院経営計画について、いくつかの収支シミュレーションから一つの結論を導き出した。細部については、現場との調整が必要であり、来年度に協議し、実現可能な計画としていく。進捗率50% 監査機能、組織開発の中で新年度に企画する。

病院事業部 重点事項						
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)	
6	新病院建設を遅延なく監理していきます。	新病院建設に向けて、造成工事から本体工事までの入札業務をスムーズに行えるようにスケジュール管理を行い、設計業者と建築業者との連携を図っていきます。	年度末までに新病院の基礎部分の完成	開発許可の遅れにより、造成工事が進んでいない。また、11月を目途に病院の方向性を考えることとなったので、進捗率は、5%程度。	設計変更などで建設費を抑制できたことで新病院を建設することを12月議会で表明。造成工事も2月に入札することとなる。進捗率 30%	造成工事が始まり、来年度夏までかかる見込み。本体工事についても、設計変更が終了し、来年度本体工事入札を行うこととなる。進捗率 50%